

実行団体の公募にあたってどのような審査を行ったか

～採択に係る審査等の事例～



一般社団法人 SINKa

社会起業家支援ネットワーク九州・アジア

2021年10月20日

一般社団法人SINKa

事業経営責任者 外山伸一郎

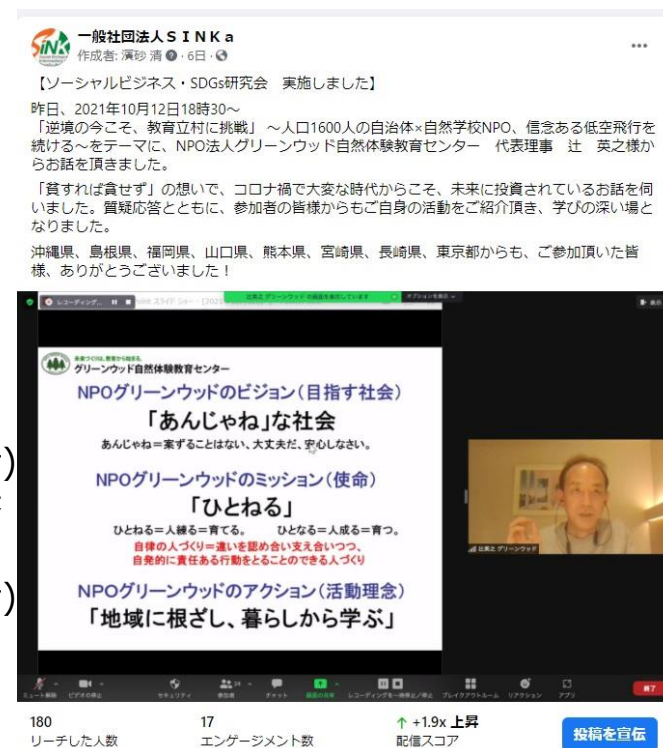
2006年4月福岡を拠点に九州・全国での社会起業家創出支援ネットワーク設立を母体として、NPO等活動団体支援、人材育成・教育事業、企業の社会貢献・CSV・SB事業、事業型NPO育成事業、各種セミナーやフォーラム開催等の事業を通じて、「人・事業・組織」を創り出し、社会を豊かにする取り組みを展開。

公設民営センター（1施設）の運営を担い、県内外団体の伴走支援を行う。

福岡県朝倉郡東峰村での地方創生、中山間地域再生支援。

※「参加者評価型ビジネス・プレゼンテーション」15年間月一回開催し、「安心・共感・信頼」を醸成し、「社会性・事業性・革新性・伝える力」を向上させる取り組みを実践。

- | | |
|----------------|---|
| （事業実績
令和2年度 | 休眠預金事業を除く）
東峰村観光振興懇談会開催運営業務（東峰村）
農山漁村魅力発信事業業務（福岡県）
福岡県NPO・ボランティアセンター運営業務（福岡県）
遠賀町起業支援施設運営・起業支援事業業務
（遠賀町起業支援協議会）
など18事業を展開 |
| 令和元年度 | 棚田景観保全プロジェクト運営法人設立業務（東峰村）
棚田景観保全プロジェクト農産加工品開発・販売促進業務（東峰村）
棚田景観保全プロジェクト施設運営スタッフスキルアップ研修業務（東峰村）
棚田景観保全プロジェクト地域おこし協力隊業務研修事業（東峰村）
など20事業を展開 |



一般社団法人 SINKa
作成者: 濱砂 清 6日

【ソーシャルビジネス・SDGs研究会 実施しました】

昨日、2021年10月12日18時30～
「逆境の今こそ、教育立村に挑戦」～人口1600人の自治体×自然学校NPO、信念ある低空飛行を続ける～をテーマに、NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター 代表理事 辻 英之様からお話を頂きました。

「貧すれば貪せず」の想いで、コロナ禍で大変な時代からこそ、未来に投資されているお話を伺いました。質疑応答とともに、参加者の皆様からもご自身の活動をご紹介頂き、学びの深い場となりました。

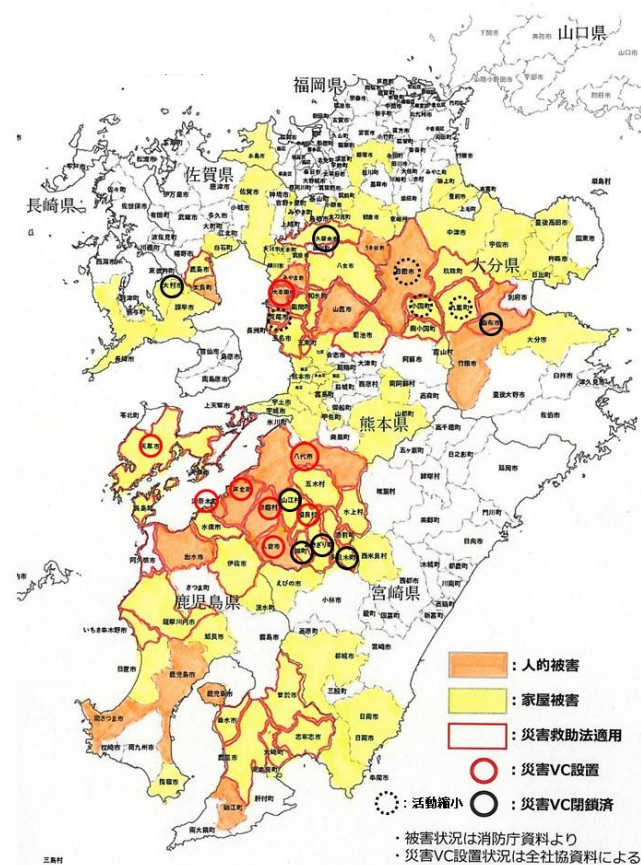
沖縄県、島根県、福岡県、山口県、熊本県、宮崎県、長崎県、東京都からも、ご参加頂いた皆様、ありがとうございました！

画面表示: グリーンウッド自然体験教育センター
NPOグリーンウッドのビジョン(目指す社会)
「あんじゃね」な社会
あんじゃね＝案ずることはない、大丈夫だ、安心しなさい。
NPOグリーンウッドのミッション(使命)
「ひとねる」
ひとねる＝人様を育てる。 ひとねる＝人成る＝育て。
自律の人づくり＝違いを認め合い支え合いつつ、
自発的に責任ある行動をとることのできる人づくり
NPOグリーンウッドのアクション(活動理念)
「地域に根ざし、暮らしから学ぶ」

180 リーチした人数
17 エンゲージメント数
↑ +1.9x 上昇
配信スコア
投稿を宣伝

福岡子ども若者、困窮者応援 笑顔創造事業

いま動くしかない！ **居場所**と**出番**づくり



事業概要（事業内容と目標）

現状

新型コロナウイルス感染拡大

子ども若者、困難を抱える方への支援活動が届かず、つながりや居場所の喪失により、経済的・精神的困窮が進行。

活動の中止・規模縮小・オンライン格差の広がり・コミュニティの希薄化。

事業

コロナ禍で影響を受けている子ども若者、困難を有する方の生活困窮、学習格差、社会的孤立に対して、テーマ別に居場所・交流の場を提供する。

結果(目標)

事業実施一年後の目標とする状態

■ 福岡県(九州)において、社会的孤立を防ぐための居場所づくりによる食支援、学習支援等の実施。福岡の明日を創る！子ども若者、困窮者の居場所・出番をつくる運営協議会の継続と九州への展開。

■ひとり親世帯や経済的困窮家庭500世帯1,000名の子どもの心の貧困が解消、学習機会を継続確保。

■困難を抱える方100名に対するふれあい・交流、コミュニティ構築を通じた人が繋がる居場所と出番づくりを創出し、やりがいと希望を持って生活できる社会の実現のスタートアップ。

■コミュニティビジネスへの展開

1. 事業名

「福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業」

～いま動くしかない！居場所と出番づくり～

2. 助成期間 2022年2月まで

3. 1団体当たりの助成金額（上限および目安）
 300万円～1,500万円

4. 助成金額総額 30,000千円



5. 採択予定団体数 3～5団体

- ・ 2021年3月19日 契約
- ・ 4月 8日 公募についてHP公開
- 公募期間 4月19日～5月6日（18日間）
- ・ 4月14日 公募説明会（24団体31名参加）
- 4月21日 // （24団体25名参加）
- ・ 5月14日 一次審査ヒアリング
- ・ 5月17日 //
- ・ 6月 4日 二次審査審査会（ヒアリング）

- ・ 6月14日 実行団体内定のお知らせ
- ・ 7月20日 福岡の明日を創る！子ども若者・
困窮者の居場所・出番をつくる
推進協議会の開催
- ・ 8月 3日 SINKaと実行団体の活動を紹介する
Facebookページ「九州ふくおかの
明日を創る！子ども若者・困窮者の
居場所・出番をつくる推進協議会」
立ち上げ

【公募終了・事業推進中】休眠預金等活用制度に基づく「福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業」実行団体の公募について

SINKa PROJECT

 いいね！  シェア 友達よりも先に「いいね！」しよう。

新着情報

- 2021. 8. 3 [【お知らせ】Facebookページ「九州ふくおかの明日を創る！子ども若者・困窮者の居場所・出番をつくる推進協議会」を立ち上げました。](#)
- 2021. 7. 20 [【お知らせ】休眠預金等活用制度に基づく「福岡の明日を創る！子ども若者・困窮者の居場所・出番をつくる推進協議会」の開催](#)
- 2021. 6. 14 [【お知らせ】休眠預金等活用制度に基づく「福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業」実行団体内定のお知らせ](#)
- 2021. 6. 8 [【お知らせ】休眠預金等活用事業実行団体採択に係る審査会の開催](#)
- 2021. 5. 24 [【お知らせ】休眠預金等活用事業 申請資料の確認・ヒアリングの実施](#)
- 2021. 5. 13 [【お知らせ】休眠預金等活用事業 申請団体一覧を公表します。](#)
- 2021. 5. 7 [【公募申請お礼】「福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業」への申請有難うございます。](#)
- 2021. 5. 6 [【公募申請終了しました。】「福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業」受付しています。](#)
- 2021. 5. 4 Q&A更新しています。下部にあるQ&Aまとめを参照ください。
- 2021. 4. 30 Q&A更新しています。下部にあるQ&Aまとめを参照ください。
- 2021. 4. 23 Q&A更新しています。下部にあるQ&Aまとめを参照ください。
- 2021. 4. 22 [実行団体公募オンライン説明会を開催しました。（4月21日開催）](#)
- 2021. 4. 14 [実行団体公募オンライン説明会を開催しました。（4月14日開催）](#)
- 2021. 4. 9 [実行団体公募オンライン説明会の開催について（※事前申し込みは\[こちら\]\(#\)）](#)
- 2021年 4月14日（水）14：00～15：00
- 4月21日（水）18：30～19：30

活動内容はHP、Facebookページに掲載

- ・申請団体 22団体 協力して頂いた皆さんのおかげです。有難うございました。

(1) 当初手続き案

- ・全ての団体に対し審査会にてヒアリング・採点評価を行い一発決定。

(審査項目 ガバナンス・コンプライアンス、事業の妥当性、実行可能性、継続性、革新性、波及効果、連携と対話、SiNka事業としての整合性)

- ①22団体のヒアリングを一度に行うのは無理だなあ。
- ②「顔を見る」「本人から話を聞いて決定」することに労力を掛けて慎重に判断しよう。
申請書だけでなくプレゼンしてもらうことで「ニュアンスが違う」の発見もある。

(2) 改定した手続き

- ・全ての団体に対して要件確認と「事務局ヒアリング・評価(一次審査)」で内容確認。
要件を満たさない団体等整理 22団体→16団体に絞り込む。
- ・一次審査の結果をまとめた資料を作成し、二次審査として審査員に配布、説明、採点評価。
採点結果に基づき 16団体→12団体に絞り込む。
- ・審査会で(12団体の)二次審査(プレゼンテーション評価)を行い、審査会メンバーで書類+人(推進する人)の本気度を測る。
- ・審査会より意見が多く出され、委員長から事務局で再調整を求められ調整して決定。

(1) 要件確認

実行団体としての活動が見込まれるかどうか。

実績の有無、協力団体含めた実行体制など

(確認結果)

- ・ 80%以上外注や委託でほとんど活動しない計画
- ・ ほぼ機械の導入のみの計画（導入後は違う団体が運営するとか）
- ・ ほぼソフト開発のみの計画（営利活動のための開発費にしたいとか）
- ・ タブレットを購入するのみ（実施は他団体）
- ・ 居場所づくりがテーマの事業なのに「環境保全を推進したい」という計画になっている。

といった事業計画が散見された。

(2) 審査表の試運転

審査員審査に用いる審査表を用いて、審査してみる。

「福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業」採点表

項目	内容	配点	採点
			1
ガバナンス・コンプライアンス	包括的支援プログラムに示す事業を適確かつ公正に実施できるガバナンス・コンプライアンス体制等を備えているか。	10	
事業の妥当性	事業対象となる社会課題について、問題構造の把握が十分に行われており、事業対象グループ、事業設計、事業計画（課題の設定、目的、事業内容）が解決したい課題に対して妥当であるか。	25	
実行可能性	業務実施体制や計画、予算が適切か。	25	
継続性	助成終了後の計画（支援期間、出口戦略や工程等）が具体的かつ現実的か。	5	
先駆性（革新性）	社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか。	5	
波及効果	事業から得られた学びが組織や地域、分野を超えて社会課題の解決につながることを期待できるか。	5	
連携と対話	多様な関係者との協働、事業の準備段階から終了後までの体系的な対話が想定されているか	5	
SiNka事業としての整合性	(事業趣旨より)コロナ禍で影響を受けている子ども若者、困難を有する方の生活困窮、学習格差、社会的孤立に対して、居場所・交流の場の提供、少人数化（多数回化）、食支援、オンライン学習支援・体験、コミュニティ構築を通じた人が繋がる居場所と出番づくりを創出し、子ども若者等の孤立による負の連鎖を断ち切り、心の貧困の解消を目指す。（公募説明会より）重点地域の設定。	20	
		100	
チャレンジ枠（採択団体とならない場合でも今後継続支援対象としたい、応援したいとお考えの団体に「○」をご記入ください。）			
審査員特記事項（審査にあたり、評価点、留意すべき点等ございましたらご記入ください）			

コロナ枠であることから「ガバナンス・コンプライアンス」「事業の妥当性」「実行可能性」を重視。かつ資金分配団体として、地域課題の解決に資するという視点。

(1) 条件

- ①民間公益活動についての理解があること。
SB、社会的課題解決に取り組む実践者であること。
- ②各分野の専門家であること。
- ③コンプライアンス（利益相反）のおそれが無いと推定されること。

(2) 審査員

- ・学識経験者
民間公益活動に係る審査経験も多数。
- ・金融機関関係団体理事
事業妥当性・継続性について。民間企業CSRにも知見。
- ・特定非営利活動法人理事
事業評価、組織評価について。
- ・民間企業CSR担当責任者
民間企業から見た事業計画の妥当性など。応援したくなる事業か。

コンプライアンスもあり、選定は非常に難しい。
当法人は九州・全国のネットワークから選定。

(採択予定)

○助成金額総額 30,000千円

○採択予定団体数 3～5団体



審査会

12団体のヒアリングを聞く。
申請団体の熱い志に触れる。
なんとかこの分野、団体にも分配したいとの意見多数。

(審査員から採択したいとされた内容)

○助成金額総額 33,400千円

○採択したい団体数 6団体



調整

6団体の申請計画確認。
「事業実施期間を実際に合わせる」「予算執行上難しいものを除外」
などなどの調整を行う。
審査員に調整結果を示し、審査結果として確定。

(採択した内容)

○助成金額総額 30,000千円

○採択したい団体数 6団体

- ・ 2021年3月19日 契約
- ・ 4月 8日 公募についてHP公開
公募期間 4月19日～5月6日（18日間）
- ・ 4月14日 公募説明会（24団体31名参加）
4月21日 // （24団体25名参加）
- ・ 5月14日 一次審査ヒアリング
- ・ 5月17日 //
- ・ 6月 4日 二次審査審査会（ヒアリング）

※審査会結果を受けて申請団体と調整

- ・ 6月14日 実行団体内定のお知らせ
- ・ 7月20日 福岡の明日を創る！子ども若者・
困窮者の居場所・出番をつくる
推進協議会の開催
- ・ 8月 3日 SINKaと実行団体の活動を紹介する
Facebookページ「九州ふくおかの
明日を創る！子ども若者・困窮者の
居場所・出番をつくる推進協議会」
立ち上げ



九州ふくおかの明日を創る！子
ども若者・困窮者の居場所・出
番をつくる推進協議会

@ユーザーネームを作成・非営利団体

[フォロー]を編集



九州ふくおかの明日を創る！子ども若者・困窮者の居
場所・出番をつくる推進協議会

作成者: 外山 伸一郎 · 10月7日 14:47 ·

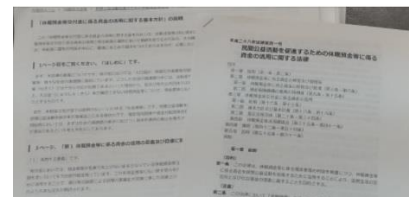
ホーム

本日（10/7）はNPO法人国際教育支援機構スマイリーフラワーズとの
月例の面談を行いました。

- ・ 活動を支援してくれる企業・団体との連携について
 - ・ 収支予算について
 - ・ 活動の進捗状況について
 - ・ 児童福祉施設との連携について
 - ・ 児童へのアプローチ方法について
- など打合せを行いました。

活動状況の把握においては、本旨の説明に時折「民間公
するのための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」
うことがあります。
そもそもの仕組みを理解することで、休眠預金制度の趣
助言となるように配慮しています。

私も実行団体の活動を通じて困難を抱える方へ支援
う努めてまいります。



九州ふくおかの明日を創る！子ども若者・困窮者の居
場所・出番をつくる推進協議会

作成者: 外山 伸一郎 · 10月14日 17:34 ·

実行団体スマイリーフラワーズの活動報告です。ご紹介します。



しごとと里親ネットワーク構築事業・事務局

10月12日 22:11 ·

本日は午後企業訪問を実施して、夜はコアメンバーで定期Mtg
を実施しました🌟🌟

協力企業さんへのご案内する内容や、またプロジェクトのロゴマ
ークなど、一步一步着実に進んでいます😊

簡単な事業でないことはやる前から判っていたことなので、いろ
んな壁にぶつかりながらですが、みんなで都度修正しながら、必
ず実現したいと思います!!

もしも事業にご関心頂けたらいつでもお気軽にこちらのDM
か、窪田広信までご連絡ください🌟

1



いいね!



コメントする



シェア



九州ふくおかの明日を創る！子ども若者・...